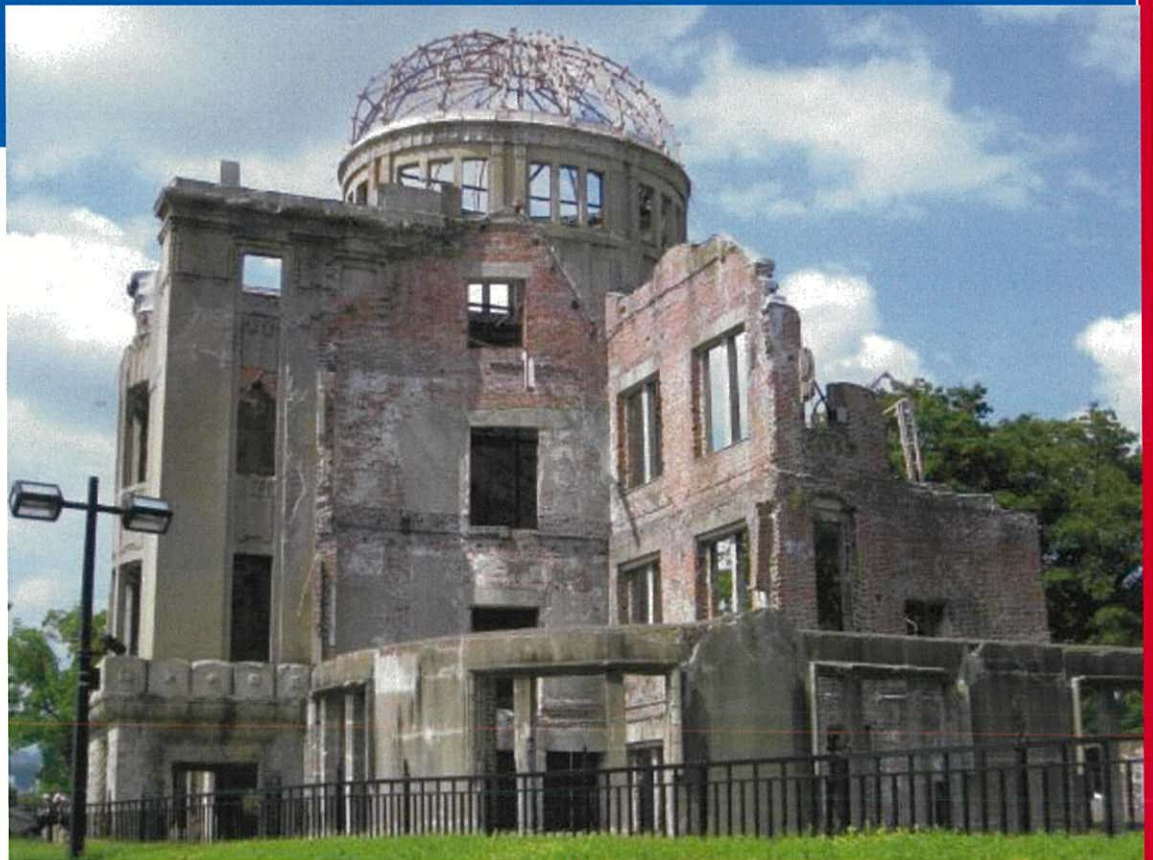


令和5年度版

2023

小・中学生広島平和学習レポート



小平市教育委員会

教育部地域学習支援課



目 次

「小・中学生広島平和学習」の実施にあたって.....	1
小平市非核平和都市宣言	2
平和宣言（令和5年 広島市 平和記念式典）	3
「小・中学生広島平和学習」の日程.....	5
事前研修・広島での様子	7
事後研修	9
参加者の声	10
参加者	31



「小・中学生広島平和学習」の実施にあたって

小平市は、戦後60周年にあたる平成17年に、すべての国の核兵器の廃絶を求め、市民とともに、世界の恒久平和を願い、平和なまちづくりを進める決意のもとに非核平和都市であることを宣言しました。

この宣言からちょうど5年を経過する平成22年度にむけて、非核平和都市宣言にふさわしい事業を検討するため、平成21年度に小平市非核平和事業の在り方等に関する懇談会が設置されました。

この懇談会では、市が新たな平和関連事業に取り組むことで、少しでも世界平和の実現に貢献できればとの願いのもと、検討が行われ、市に報告がなされました。

その報告のなかで、非核平和都市宣言5周年にふさわしい事業として挙げられたもののなかに、参加系事業として「小・中学生の広島派遣事業」がありました。

平成22・23年度には、この事業の実現に向けての検討を行い、平成24年度に「小・中学生広島平和学習」という事業名で実施することができました。

「小・中学生広島平和学習」は、非核平和都市宣言の願いを踏まえ、子どもたちが実際に広島を訪問して平和記念式典に参列し、原爆ドーム等を見学することで、戦争の悲惨さ、平和の意義について考えてもらうことを目的としたものです。

令和5年度は、小学6年生1人、中学2年生7人、中学3年生2人の計10人と引率者4人で実施しました。

小平市非核平和都市宣言

世界の平和の実現と核兵器の廃絶は、わたしたち人類共通の願いです。

しかし、世界ではいまだ戦争がやまず、核兵器は人類の脅威となっています。

わたしたちは、世界で唯一の核兵器による被爆を体験した国民として、その悲惨さや恐ろしさを全世界に伝えていく重要な役割を担っています。

先人が築いた玉川上水の清らかなせせらぎと、緑豊かな大地に育まれたこの小平の地を守り、次代を担う子どもたちに引き継いでいくために、わたしたち小平市民は、友愛の心を持ち、平和の実現に努めていきます。

小平市は、戦後 60 周年にあたり、すべての国の核兵器の廃絶を求め、平和への誓いを新たにし、ここに非核平和都市であることを宣言します。

平成17年6月7日

小平市

平和宣言

78年前の原爆投下の日を、まるで生き地獄のようだったと振り返る当時 8 歳の被爆者は、「核兵器を保持する国の指導者たちは、広島、長崎の地を訪ね、自らの目で、耳で、被爆の実相を知る努力をしていただきたい。あの日、熱線で灼(や)かれ、瞬時に失われた命、誰からも看取られず、やけどや放射能症で苦しみながら失われていった命。こうして失われた数え切れない多数の人々の命の重さを、この地で感じてもらいたい。」と訴えています。

本年 5 月の G7 広島サミットで各国首脳が平和記念資料館の視察や被爆者との対話を経て記帳された芳名録は、こうした被爆者の願いが各国首脳の心に届いていることの証しになると思います。また、慰霊碑を参拝された各国首脳に私から直接お伝えした碑文に込められた思い、すなわち、過去の悲しみに耐え、憎しみを乗り越えて、全人類の共存と繁栄を願い、真の世界平和を祈念する「ヒロシマの心」は、皆さんの心に深く刻まれているものと思います。こうした中、G7 で初めて「核軍縮に関する G7 首脳広島ビジョン」が独立の文書としてまとめられ、全ての者にとっての安全が損なわれない形での核兵器のない世界の実現が究極の目標であることが再確認されました。それとともに、各国は、核兵器が存在する限りにおいて、それを防衛目的に役立てるべきであるとの前提で安全保障政策をとっているとの考えが示されました。

しかし、核による威嚇を行う為政者がいるという現実を踏まえるならば、世界中の指導者は、核抑止論は破綻しているということを見直し、私たちに厳しい現実から理想へと導くための具体的な取組を早急に始める必要があるのではないのでしょうか。市民社会においては、一人一人が、被爆者の「こんな思いは他の誰にもさせてはならない」というメッセージに込められた人類愛や寛容の精神を共有するとともに、個人の尊厳や安全が損なわれない平和な世界の実現に向け、為政者に核抑止論から脱却を促すことがますます重要になっています。

かつて祖国インドの独立を達成するための活動において非暴力を貫いたガンジーは、「非暴力は人間に与えられた最大の武器であり、人間が発明した最強の武器よりも強い力を持つ」との言葉を残しています。また、国連総会では、平和に焦点を当てた国連文書として「平和の文化に関する行動計画」が採択されています。今、起こっている戦争を一刻も早く終結させるためには、世界中の為政者が、こうした言葉や行動計画を踏まえて行動するとともに、私たちもそれに呼応して立ち上がる必要があります。

そのため、例えば、私たちが日常生活の中で言葉や国籍、信条や性別を超えて感動を分かち合える音楽や美術、スポーツなどに接し、あるいは参加して「夢や希望がある」といった気持ちになれるような社会環境を整えることが重要となります。皆さん、そうした社会環境を整えるために、世界中に「平和文化」を根付かせる取組を広めていきましょう。そうすれば、市民の支持を必要とする為政者は、必ずや市民と共に平和な世界に向けて行動するようになるかと確信しています。

広島市は、世界 166 か国・地域の 8,200 を超える平和首長会議の加盟都市と共に、市民レベルでの交流を通して「平和文化」を世界中に広めます。そして、平和を願う私たちの総意が為政者の心に届き、武力によらず平和を維持する国際社会が実現する環境を作ることを目指しています。また、被爆者の平和への思いを世界中の若者に知ってもらい、国境を越えて広め、次世代に引き継げるようにするために、被爆の実相に関する本市の取組をさらに拡充していきます。

各国の為政者には、G7 広島サミットに訪れた各国首脳に続き、広島を訪れ、平和への思いを発信していただきたい。その上で、市民社会が求める理想の実現に向け、核による威嚇を直ちに停止し、対話を通じた信頼関係に基づく安全保障体制の構築に向けて一歩を踏み出すことを強く求めます。

日本政府には、被爆者を始めとする平和を願う国民の思いをしっかりと受け止め、核保有国と非核保有国との間で現に生じている分断を解消する橋渡し役を果たしていただきたい。そして、一刻も早く核兵器禁止条約の締約国となり、核兵器廃絶に向けた議論の共通基盤の形成に尽力するために、まずは本年 11 月に開催される第 2 回締約国会議にオブザーバー参加していただきたい。また、平均年齢が 85 歳を超え、心身に悪影響を及ぼす放射線により、生活面で様々な苦しみを抱える多くの被爆者の苦悩に寄り添い、被爆者支援策を充実することを強く求めます。

本日、被爆 78 周年の平和記念式典に当たり、原爆犠牲者の御霊に心から哀悼の誠を捧げるとともに、核兵器廃絶とその先にある世界恒久平和の実現に向け、被爆地長崎、そして思いを同じくする世界の人々と共に力を尽くすことを誓います。

令和 5 年（2023 年）8 月 6 日

広島市長 松 井 一 實

「小・中学生広島平和学習」の日程

1日目 8月5日(土)

朝食× 昼食○ 夕食○

時間	内容	場所・備考
7:30	参加者集合	市役所 立体駐車場東側
7:45	出発	
7:55	青梅街道駅発 	
8:00	国分寺駅着	
8:13	国分寺駅発	
8:47	東京駅着	
9:30	東京駅発 	のぞみ21号
	昼食(車内) 	
13:27	広島駅着	
13:45	マイクロバスで移動 ホテル着	荷物をホテルに預ける
	マイクロバスで移動 広島平和記念公園着	
14:20~16:50	公園内見学	原爆ドーム、慰霊碑 原爆の子の像(折り鶴) 平和記念資料館等
16:50~17:10	徒歩で移動	
17:10	ホテル着	
17:10~18:00	荷物等身辺整理	
18:00~19:00	夕食 	ホテル内
19:00~19:10	明日の日程説明	
19:10~	入浴・自由時間	
	検温	体調確認見回り
21:00	消灯・就寝 	

2日目 8月6日(日)

朝食○ 昼食○ 夕食×

時間	内容	場所・備考
5:30~6:00	起床・洗面 清掃・身辺整理	
6:00~6:30	検温 朝食 	荷物をホテルに預ける ホテル発
6:40	出発準備 徒歩で移動	
7:00	広島平和記念公園着	
8:00~8:45	平和記念式典参列	
8:45~10:00	休憩・献花	1人1束
10:20	マイクロバスにて移動	ホテルに寄り荷物受取り
11:00~12:00	昼食(お好み焼き) 徒歩にて移動 	ひろしまお好み物語
12:10	広島駅着	
12:10~12:55	班ごとに自由行動	土産店等
12:55	集合	
13:18	広島駅発 	のぞみ28号
17:15	東京駅着	
17:40	東京駅発 	
18:24	国分寺駅着	
18:35	国分寺駅発	
18:40	青梅街道駅着	
18:50	市役所到着・解散	



事前研修・広島での様子

事前研修

令和5年7月8日（土）午後2時30分～4時30分
中央公民館

保護者同席のもとで日程や持ち物などの説明を行い、その後、参加者のみで事前研修を行いました。

他の参加者や引率する青少年委員・看護師・小平市職員と初めて会って、最初は緊張していた参加者も、班ごとのワーキングをとおして、次第に緊張がほぐれ、みんな笑顔になっていきました。

最後に宿題を出されて、びっくりしていたみなさんですが、8月5日に元気で会うことを約束して、事前研修は終わりました。



広島での様子

令和5年8月5日（土）～8月6日（日）

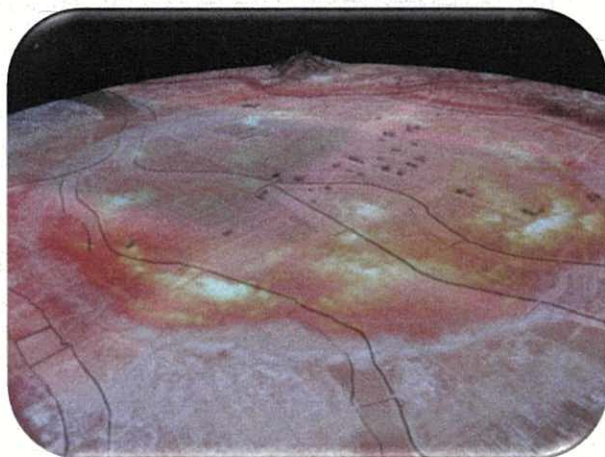
8月5日は、原爆死没者慰霊碑→平和の灯（ともしび）→原爆の子の像→平和の鐘→平和の時計塔→原爆ドーム→爆心地→アオギリ→広島平和記念資料館の順に歩いて見学しました。原爆の子の像では、参加者みんなで折った千羽鶴を捧げました。

とても暑い中での見学となりましたが、被爆当時の惨状を残す原爆ドームを間近に見て、みなさんの「遠い昔の遠い所での出来事」という思いは変わったようです。



広島平和記念資料館では、「平和学習ワークブック」を片手にメモをとりながら、模型や映像・写真、被爆資料などを見て、原爆の恐ろしさをあらためて知りました。

広島までの新幹線車内で賑やかだった参加者も、みんな真剣に見学していたのがとても印象的でした。



8月6日は、平和記念式典に参加しました。厳しい日差して、とても暑い日となりましたが、前日に学んだことを振り返りながら、また、原爆が投下された当時もこのように暑い日であったことを思いながら、祈りを捧げました。

式典終了後には、世界平和の願いをこめて1人ずつ献花を行いました。



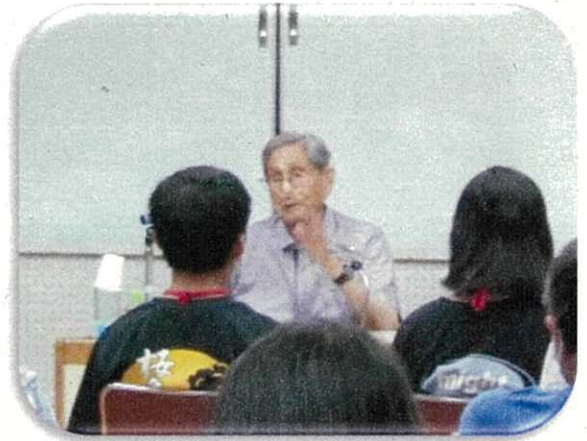
事後研修

被爆体験者の講演

令和5年8月19日（土）午後3時～午後3時50分

小平市原爆被爆者の会会員である田中 美光たなか よしみつさんにお話ししていただきました。

「小・中学生広島平和学習」の参加者は、最前列で一般参加者とともにお話を伺い、実際に広島へ行って学んできたことと合わせて、平和の大切さについてあらためて深く考える機会となりました。



報告会

令和5年8月19日（土）午後3時50分～午後4時30分

「被爆体験者の講演」に引き続き、参加者から広島へ行って学んだことを1人ずつ報告してもらいました。

平和な世の中をつくっていくために大切だと思うことや、そのために自分たちができることなどについて、ひとりひとりが考えて発表し、みんなとても立派な報告でした。

参加者からの報告のあとは、被爆体験者との懇談も行いました。



参加者の声

参加者は、事前研修で学んだことなど、様々な想いを胸に抱いて広島を訪問しました。

事前研修や事後研修などでまとめた参加者の声は、以下の4つの視点から書かれています。

- ① 平和学習に参加する前の広島のイメージ
- ② 平和学習に参加した後の広島のイメージ
- ③ 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて何が一番印象に残ったか
- ④ 平和な世の中をつくっていくために何が大切で、そのために自分たちができることは何か

参加者が自分の目で見て、耳で聴いて、肌で感じてきたことが、自分の言葉でつづられています。

参加者のみなさんは、実際に広島へ行ってどのようなことを感じたのでしょうか。



広島について思うこと・・・

【広島平和学習に参加する前】

原爆が落されてたくさんの死人がでた場所。

もう二度と原爆を落さないとした所。

原爆ドーム(原爆が落ちて残った建物)がある場所。

平和式典のかいしょう。

【広島平和学習に参加した後】

広島での平和式典のかいしょうにはたくさんの被爆者の思いがよせあつめられてその代表がきたりさん。

広島は原爆についての歴史が古い。

平和式典に出て語る人たちはみんな思いが同じ。

思い出して、考えてみましょう。

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

平和記念公園のさだこさんの像が印象に残りました。

なぜならさだこさんにこめが木を思いやてがかねをなした時に伝わってきたからです。近くにおゝたつるからさだこさんへと思ひがつながって行くような感じがしました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

平和な世の中をつくっていくために一人一人が平和について深く知る事が大切だと思いました。

そのために自分たちができることはみぢかなんと関わりを深くしてつながっていくことだと思っています。

広島について思うこと・・・

【広島平和学習に参加する前】

- 原爆の影響がどのようなものなのか知りたい。
- 色々な事が知りたい
- 平和記念式典にでてみたい
- 被爆した方々の原爆に対する思いを知りたい。

【広島平和学習に参加した後】

- 原爆がとてもおそろしい物で人々の体だけでなく心まで傷つけてしまう事を知った。
- 原爆には何年たってもきえない傷や後遺症をひきおこす力がある事を知った。
- 広島平和記念式典には多くの人々の思いでできているんだなと思った。
- 今でも広島の人々や日本人は被爆して七十年、人たちの事を大切に思っているのだなと思った。

思い出して、考えてみましょう。

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

被爆者の言葉や姿を見たことで原爆の影響をもう一度感じる
ことができ、原爆のおそろしさを、目にする事ができた平和
記念資料館が印象に残りました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつつていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

自分たちの行動に責任感をもつ事が大事だと思いました。
責任感をもつて行動する事で自分が何をしようとしているのかを
考えられると思い、まちが、た行動をお回数外に減るのでいい
かと思いた。

広島について思うこと・・・

【広島平和学習に参加する前】

- ・ 原爆が落とした場所
- ・ 平和公園の像などを見た
- ・ 原爆ドームを見た
- ・ 原爆のことをあまり知らないので知りた
- ・ 原爆の「怖さ」を現物を見て実感した

【広島平和学習に参加した後】

- ・ ホロホロの服や物を実際に見て原爆の怖さが分かった
- ・ 平和公園の像ほど、平和を願うつくられたものかいたくさんあり、平和の大切さについて知った
- ・ 平和式典の言葉を聞いて平和について考えるきっかけとなった。

思い出して、考えてみましょう。

- 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

私が、一番印象に残ったのは平和記念資料館の被曝してホロホロになった「三輪車」と「鉄かみ」との説明文です。

小さい子供が楽しく遊んでいると原子爆弾によって、三輪車が「おこげ」になり、それに乗っていた子供の命もうばわれ、とっても辛い痛かったと考えると、悲しくなり、平和の大切さを改めて考えさせられました。

- 平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

平和な世の中をつくっていくのには、「人間一人一人が自分の考えを優先させないで、まず相手の気持ちをしっかりと理解していくこと」が大切だと思います。武力よりもコミュニケーションをとることから平和への一歩だ」と考えています。

私は、まず小さなコミュニケーションで、あるいは兄弟間や学校生活やボランティア活動の中で相手の気持ちをくみとりながら世の中の動きに目を向けていくことから、自分にかきまわることだと思っています。

広島について思うこと・・・

【広島平和学習に参加する前】

・テレビや本などで何度か見ていますが、実際にはその場所での目で見てきたことが
です。・実際にはどれくらいのがい、か、あつたのか、つた、か、です。

【広島平和学習に参加した後】

思ったよりもすごく悲しが、る、と、な、り、原爆ドームが、た、く、悲、し、く、
な、り、し、た、。理、由、は、ド、ー、ム、の、お、お、の、形、を、見、て、き、こ、え、た、。そ、の、原、爆、が、こ、ん、な、り、に、も、
形、が、変、わ、り、し、て、本、当、に、原、爆、は、小、お、い、と、思、い、ま、し、た、。

思い出して、考えてみましょう。

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

自分が一番印象に残ったことは、原爆ドームです。
なぜなら原爆が落ちた場所から106mも離れているのに、
あんなにも形が変わっていて原爆の怖さを知ったからです。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

平和な世の中をつくっていくために大切だと思うことは、
貧しい人々を助けることです。そのために自分ができることは
寄付をしたり募金をするのだと思います。

広島について思うこと・・・

【広島平和学習に参加する前】

- ・原爆について知りたかった
- ・原爆ドームを見てみたかった
- ・広島に行ってみたかった

【広島平和学習に参加した後】

- ・原爆ドームは迫力がすごかった。
- ・今は街がバツバツと発展していた。
- ・広島のみ友好関係がバツバツと増え知れなかった。

思い出して、考えてみましょう。

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

今日 広島平和学習に参加して一番印象に残ったのは原爆ドームです。

それは、被爆しても尚見えているからです。

初めて原爆ドームを見て、凄惨ななと思いました。

又、テレビで見るのと違い、とても迫力があると思いました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

戦争や紛争無くすることが大切だと思いました。

そのために自分たちができることは戦争や紛争をしないことだと思います。

広島について思うこと・・・

【広島平和学習に参加する前】

★テレビで見たり、小学校や中学校で習ったことはあったが、実際に体験して学びたいと思ったから参加した。

○道徳の授業でも5回くらい広島のことをやったり、歴史の時にも行い、もっと学びたいと思ったから

○サンプルチュ広島や広島カープにも興味があるので楽しみ☆☆☆

○おいしいお好み焼きがおいそう(๑)「ワフワフ」

○今までで一番遠い場所に行く期待!!

【広島平和学習に参加した後】

★実際に自分の目で見て、広島のひさんさを体でも感じた。

★式典や資料館を通して考えたことを伝え、自分の生き方にもつなげて、広島のひさんさを伝えたい。

○お好み焼きは想像の百倍おいしかった(๑)

思い出して、考えてみましょう。

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

僕が平和記念学習で印象に残ったことはたくさんあります。その中でも一番印象に残ったのは平和記念資料館の一番最初の資料です。原爆が落とされる前と後の平和から「やけのはら」になる広島市の写真のことです。理由は、核爆弾一つで、世界が変わってしまったことへのしょうげきが自分の中であまりにも多く、それ一つでたくさんの命と人々がいなくなってしまう、だからです。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

相手のことを思いやり、平和な世界を続け、さらによくしていくことです。そのためにできることは、意識を変えることです。一人一人が平和について考え、みんなが平和について考えれば、世界は変わります。なのでまず自分、ここにいる人やみんなが平和について考えて、意識することが大切じゃないかとぼくは思います。

広島について思うこと・・・

【広島平和学習に参加する前】

小平の代表として広島に行くと、式典に出るから少し緊張しています。しかし、こういう場面であるからこそ、そこで、自分には、新しいものを吸収して、これからは、生かされたい、いい事だ、思っています。

また、10人(女子4人)という、少ない人数であるからこそ、知らない人との仲を深めて、さらには、ユニニエテ-ニア-をテーマ、おたのみに取り組むといい事だと思っています。

平和学習は、「学習」なので、ホタルほどかは、マナーを守り、楽しく、安全に、見学ができればいいと思います。

学習以外で楽しみになる事は、広島市の末場の「お好み焼き」です。広島に行くと、その食べ物だ、と思うので、味がいいから食べたいなと思っています。



【広島平和学習に参加した後】

行く前は、少しは興味を持ってた方がいいな、くらいにしか思っていなかった。しかし、いざ行ってみると、平和記念資料館では、人工の解読させ、悲しみほどか、書かれています。私達が、まだ経験してない事が、この資料館で深く学ぶことができて、吸収することができました。また、参加する前に少し緊張していた、式典も、お礼、緊張せずに、平和に祈りを、さげることができました。また、学習以外にも、部屋でのユニニエテ-ニア-で、場での、お楽しみ、特に、一番楽しみにしていた、お好み焼きを、よく味わうことができて、よかったです。食事もおかわることかできて、「学習」、「楽しみ」を通じて、ことかできて、1日でした。

思い出して、考えてみましょう。

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

私が一番印象に残ったことは、平和記念資料館です。その理由は、
2つあります。(1つ目は、戦争で亡くなってしまった人々の残酷さを色々の場所
で知りることができた事です。例えば死んでしまった人々の持ち物や、
衣類などを見てみると、血痕の跡が変色して、汚れていたり
原爆でやられた跡が、ボロボロに付着してしまったりしました。2つ目
は、人々の大切さについて知れた事です。大人はもちろん今年生きている執
連と同じくらいの年頃で亡くなってしまった子供も抱かれたことを知
れた。また、執連が今まで前に過ぎていく日々も、昔は戦争や
食料不足などで大変であった事を、この資料館を通じ、改めて学べました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

まず、一番に、世界中の人々に、原爆の悲惨さを知ってもらうことです。とりずること
で、日本だけでなく、他の国の人々も、平和記念資料館を訪ねて、改めて、
原爆の悲惨さや、恐ろしさについて、知ることか、できると思っています。
しかし、今でも、ロシアとウクライナでの戦争が続く中、多くの人が亡くなっていること
のことをふまえて、ウクライナの人々が、生き延びるために、募金をして、やして、
お金を寄付してあげるといふ取り組みも、これからの平和に繋がっていく
のでは無いかなと思います。その為には、先程言った募金や援助ほど、平和
について、自分一人だけができることか、あるれば、実行し、大きな平和につい
て、できることか、あれば、できる限り、貢献し、尽力していければ良い
と思います。

広島について思うこと・・・

【広島平和学習に参加する前】

姉が一度、広島平和学習に行き、平和の大ささを
直接体験していたので、自分もしたいと思ったのと、
親に行ってみたらと言われたから。

戦争についてはテレビで見たりぐらいしか、
ないから、詳しく知りたし。実際に被爆を体験
した人の話を聞いたりしたい。

【広島平和学習に参加した後】

広島^{の過去}がとても悲惨だったことを知った。
原爆で、多くの命がなくなり、多くの人が被爆した。
それがどんなに苦しかったかを思うと、戦争の見方や
考え方が変わった。

78年かいた、た今、原爆の状況が語り継がれている
のが、すごいと思った。

思い出して、考えてみましょう。

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

私は、平和記念資料館を見て、「N家の崩壊」というものに、一番心を打たれた。
原爆の被害の大きさはなるとなくでしか、わかっていながら、しかし、色々な戦時
中の生活を見て、普段では感じることのできない苦しみや悲しさを感じた。私
たちより前に生きていた日本人が、一つの原爆で命を落とし、大切な人を奪
われたと思うと、その感情が湧き出る。特に「N家の崩壊」が、グッと心に刺さる。
Nさん(女)は生き残ってはいたものの、皮膚最し、後遺症が残った。つまり、働け
ないほどつらい。だから、働かないと生きて、働けば「更につらくなる」と思う。
私はこの出来事、命の選択もさせておれない、生きる希望も持たせて
くれない。そう感じ、戦争はいくらされてはいけないものだと学んだ。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思えますか。

平和な世の中をつくっていくためには、自分が「学んだ」ことを後世へ、周りに
伝えていくことが大切だと思う。たった一人だけが、戦争の引き起こす事態を
学んだから、平和になったともいえないうし、何も変わっていない。その状況
を変えるためにはみんなの意思が変わること。だから、自分が伝えていか
ないといけない。今、被爆したたちで生きている人たちの平均年齢は
85歳を超えたと聞いた。つまり、戦争の悲惨さを後世に伝えていく
ということは、難しくなっているという現状がある。だから、私たちが
ちゃんと伝えることでもいから、伝えていくべきだと思う。

広島について思うこと...

【広島平和学習に参加する前】

広島は初めて核兵器が使われた場所

お好み焼きがおいしい

原爆による後遺障に苦しむ人がいる。

原爆がおとされて今どんな風に復興していったか知りたい。

【広島平和学習に参加した後】

平和記念資料館で見た被害を受けた方々の写真が1番印象に残った。

核兵器は人をまもるものではなく命を奪うもの
だと思った。たった1発の原爆でこんなにも変わってしまった。

原子爆弾の投下から現在までい^{ことしりおどろ}んな人たちが
復興にむけがんばってきたことがわかった。

お好み焼きがおいしかった。

思い出して、考えてみましょう。

- 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

平和記念資料館で見た被災者の方の写真が一番印象に残った。戦争を経験したことがない私にとって熱線におて全身を火傷してしまつた写真、子どもの目が垂れ下がっている写真はとても衝撃的だったから。また平和記念公園で見た、原爆の子の像では授業で習ったことを自分の目で確かめることができ良かった。原子爆弾で命が助かった人も放射線による被害を受けまくる人が多かったことを知り当時のヒロシマの人々に深い傷をつけたことを知り、胸がいたくなった。

- 平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思ひましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思ひますか。

平和な世の中をつくっていくために私は戦争でつかわれている核兵器は大切な人をまもるものではなく、命をうばつものという理解をしてほしいと思つた。日本は唯一の原子爆弾が投下された国だからこそできることを増やしていきたい。友達を大切に^まする、思いやりを持つなど誰にでもできることをみんながしていくことが世界平和への実現になると思つた。現代の問題である差別や偏見、なども同時になくしていけるといいと思つた。

広島について思うこと・・・

【広島平和学習に参加する前】

- ・ 球団(カープ), お好み焼, ハッポウ, 瀬戸内しまなみ海道, マツダ
- ・ 原爆でたくさんの方が亡くなった (長崎よりも多い) 「瀬戸の花嫁」
- ・ リトルボーイが落とされた (世界で最初の被曝地) 段々畑
($E=mc^2$ が悪用された) 「黒い雨」
- ・ 呉の造船所からの戦艦大和
- ・ 現在は百万都市まで発展
(元は西の軍事拠点)
- (・ 母が平和学習に参加した)

【広島平和学習に参加した後】

- ◎ 想像していたよりも甚大な被害を受けていた
(生き残った被曝者の方々も精神的に追い詰められていた)
- ◎ 甚大な被害を受けているからこそ
現在までに目ざましい復興を遂げたことに感銘を受けた
(百万都市や西日本の巨大な観光拠点として発展)

思い出して、考えてみましょう。

- 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

一番印象に残ったのは、平和記念資料館の本館です。特に川面に浮かぶ遺体の絵にはとても驚きました。説明を見ると、原爆の爆風で川まで飛ばされた人と、爆風の熱さに耐えかねて入水する人が半々だったとありました。2023年にG7サミットで広島に来訪した各国の首脳陣には東館しか見せなかったことを知り、なぜ本館を見せなかったのか気になって本館を訪れた結果、あまりに悲惨すぎて見せなかったのかと気づきました。核廃絶を進めるためにも、本館を見せるべきだったと思います。

- 平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

平和な世の中を作るためには、過去に起きた悲惨な出来事を後世に伝えていくことだと思います。二つの原爆によって身体にも心にも深い傷を負った人は年々減ってきています。だから、自分たちには、実際に被曝した人から話をしっかり聞くことができなくなる前に、被曝者から当時の状況を詳しく聞いて、その悲惨な状況を後世に伝えていくことができると思います。

参加者



小平第三小学校6年	上水中学校2年
小平第一中学校2年	花小金井南中学校2年
小平第一中学校2年	立川国際中等教育学校2年
小平第四中学校2年	花小金井南中学校3年
小平第五中学校2年	桐朋中学校3年

引率：青少年委員1人、看護師1人、地域学習支援課職員2人

2023 小・中学生広島平和学習レポート

令和5年度版

令和5年12月発行

編集・発行 小平市教育委員会教育部地域学習支援課
小平市小川町2丁目1333番地
電話 042-346-9834
chiikigakushushien@city.kodaira.lg.jp

